

経営比較分析表（平成29年度決算）

静岡県袋井市 聖隷袋井市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(代行制)	4	-	訓	-
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
87,908	10,245	非該当	15:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
100	50	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	150
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
100	50	150

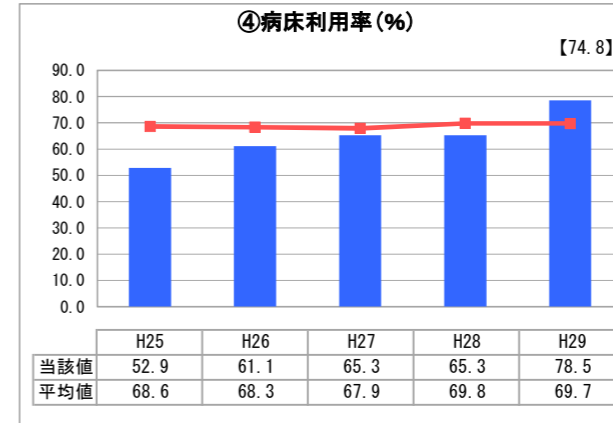
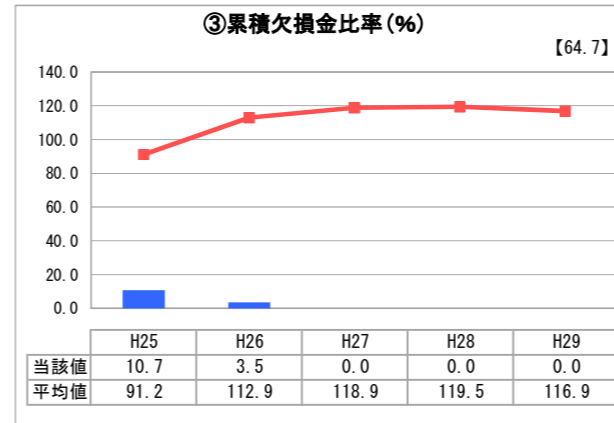
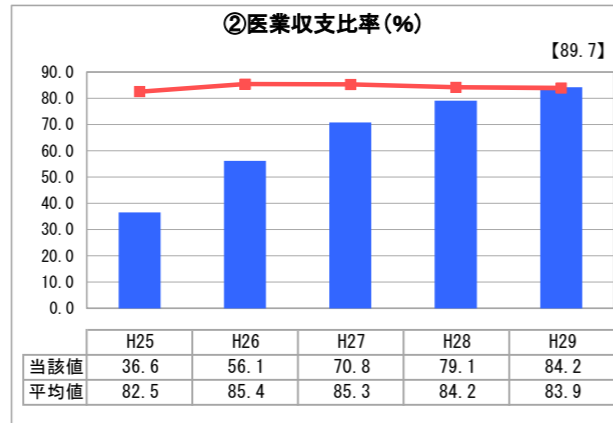
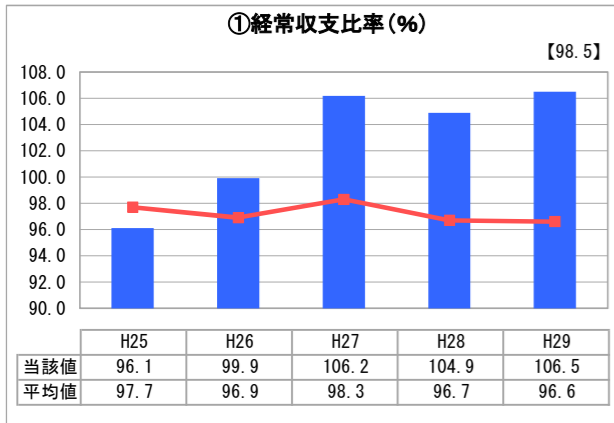
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性

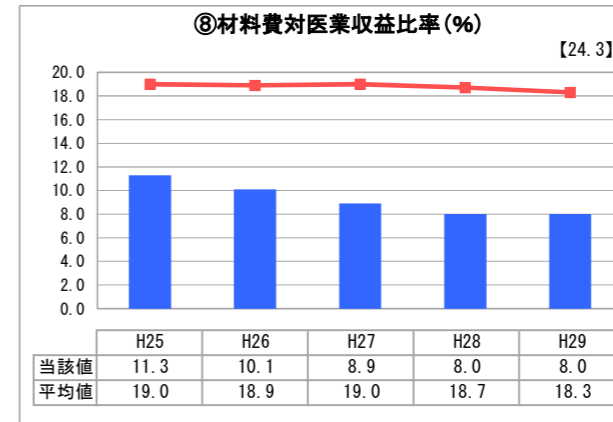
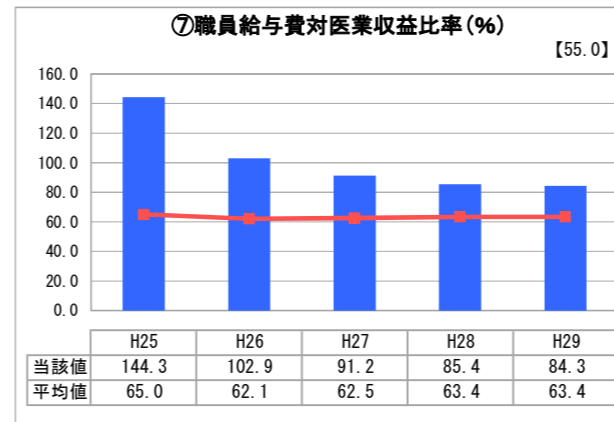
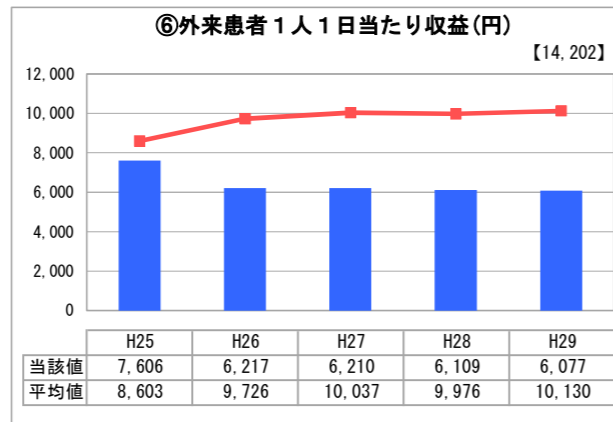
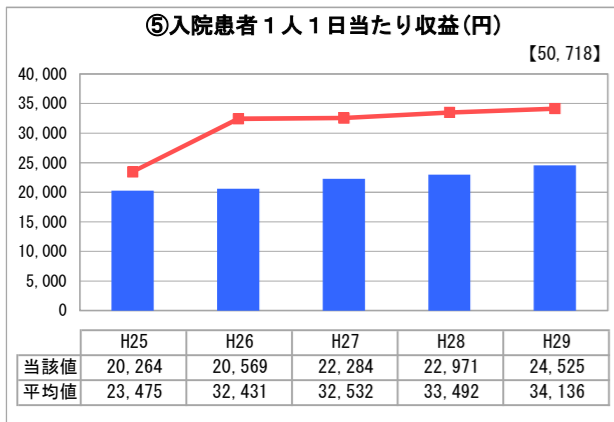


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



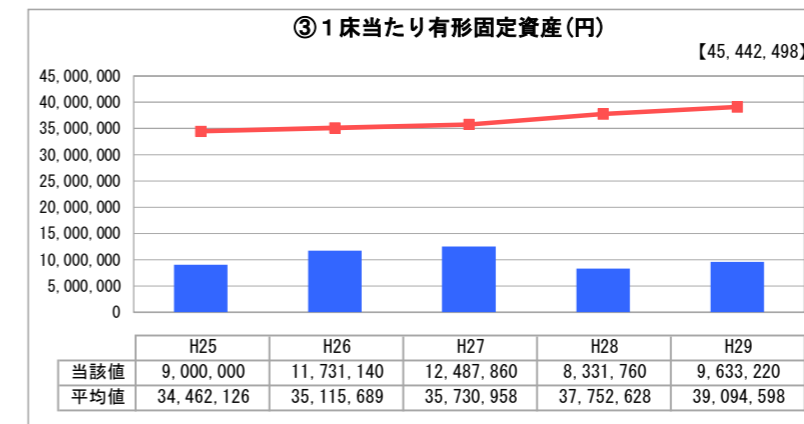
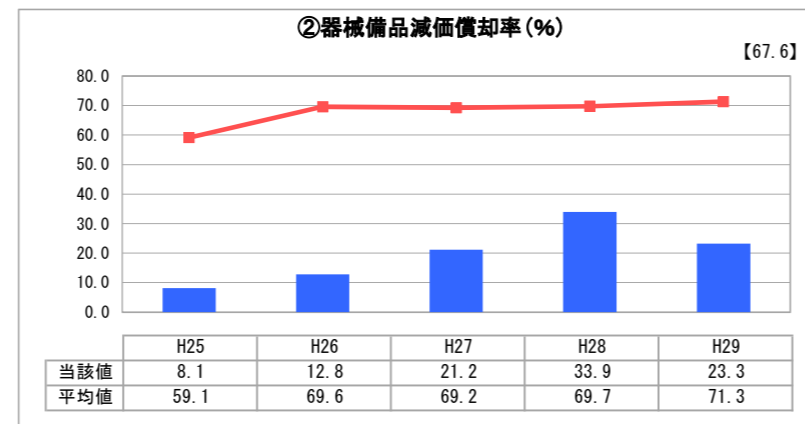
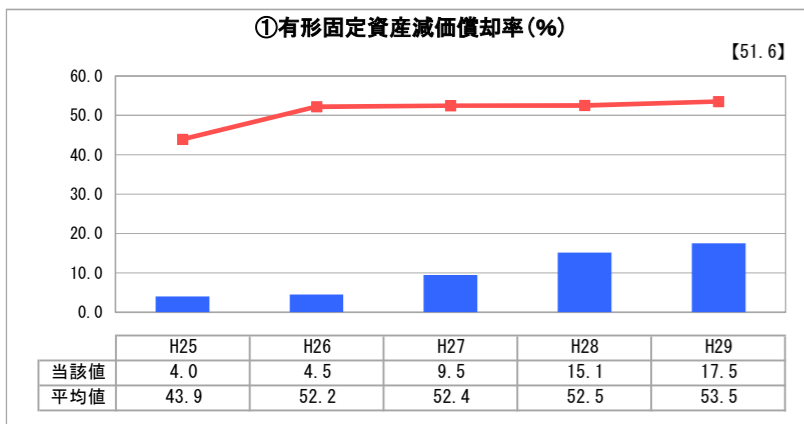
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「器械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

公立病院の統合により新たに設立された中東遠総合医療センターの後方支援病院として、外来機能(一次医療)と、一般病床・療養病床・回復期リハビリテーション病床を市内で運営している。高度医療(二次医療)を担う中東遠総合医療センターと、地域の診療所、訪問看護・介護事業所等と連携して機能分担し、切れ目のない地域医療体制を提供する、地域包括ケアシステムの拠点として運営している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成25年度の開院以降5年を経過し、安定的な運営を行っていることから、経常収支比率も持続可能な経営を実現するための指標である100%を超えている。

入院・外来患者の1人1日当たり収益については、当院は高度急性期病床がなく、慢性期病床が主であり、他よりも収益性の低い病床が多いため、平均よりも下回っている。

しかし、患者数は順調に増加しており、特に、入院患者数の増加に伴い、入院収益も年々増加していることで、医業収支比率及び病床利用率の改善が進み、今年度は平均を上回ることができた。

今後も収益増加に向けた取り組みを進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

旧袋井市立袋井市民病院の開院に伴い、袋井市立聖隷袋井市民病院は平成25年に開院したが、施設自体は外来部分が昭和54年に建設され約38年が経過し、病棟部分が平成元年に建設され約29年が経過している。

そのため、施設の老朽化が著しく、備品等も経年劣化が進んでいる。

今年度はMR I 更新工事を実施し、平成30年度には空調・給湯設備更新工事を実施する予定だが、今後も計画的に施設修繕や備品の更新を図り、より良い療養環境の提供に引き続き努めていく。

全体総括

経営は順調に推移している。今後においても、平成28年度に策定した「袋井市立聖隷袋井市民病院改革プラン」に基づきながら、経費削減・抑制に向けた取り組み、収入増加・確保に向けた取り組み、人材確保・離職防止に向けた取り組みなどを推進し、効率的で安定した経営基盤の確立に向け、より一層努力していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。